

## 用例

反応性メチルシリコーン樹脂

## 重要な利点

- 低粘性メトキシ官能性シリコーン樹脂
- 常温にて、触媒と加水分解/縮合反応で取り込まれる湿気による硬化
- 温度を掛け完全な硬化塗膜を得る際、低い発煙および低い臭気の発生
- SILIKOPHEN® AC 1000 は、単一の疎水性成分としてかつ、木材の防火含浸材の配合に完全に適合します。

## 適性

水系 溶剤系



高固形物



● 不適 ● 一部適する ● 適する

## 代表的な用途

- 工業設備向け熱安定性塗料
- 防食塗料
- オープン、燃焼炉、工場配管、焼却炉

## 技術情報

有効成分量	100 %
外観	透明から濁った色の液体 (製品性能は濁りに影響されない)
納入形態	液体
粘度 (25°C)	Approx. 15 mPas

## 溶解性

キシレン	ダウノール MPA
酢酸ブチル	シクロヘキサノン
● 不溶 ● 一部溶解 ● 溶解	

## 処方手順

- 最大 650 °C の耐熱性を継続的に得るために、メタリック顔料および特殊製剤を使用してください。
- 表面前処理: 脱脂とショットブラストをお勧めします。
- アルコキシ官能性樹脂との併用では、溶剤にアルコールや水酸基を持つグリコールエステルを用いることはお勧めしません。
- 使用原料の水分率は、0.05% 未満であるべき。

## 反応硬化条件

- このバインダーは、触媒の存在下で室温で硬化します。
- 推奨します触媒の添加率は、例えば テトラ-n-ブチルチタネートですと、バインダー固形分に対して 1-5% です。触媒の添加は、(1 液系の場合) 製品詰め直前あるいは、(2 液系の場合) 塗装の直前に行われなければならない。
- 常温で約 12 時間乾燥した後に強制乾燥が可能です。この架橋反応は、加水分解/縮合反応によって進行しますので、対流式オープンなどの強制乾燥炉を使用する場合は、湿度がある空気中で行ってください。

## 取り扱いおよび貯蔵

- 未開封状態で保管されれば、製品の貯蔵期間は製造後 36 か月です。
- (金属容器など) 銅と接触すると安定性が短縮されます。また水分との接触はゲル化を起こします。

この文書に記した情報、技術等は、当社の現在における知識・経験に基づくものです。当社はこれらの情報、技術等による第三者の知的財産権、特に特許権の侵害問題などについて、いかなる賠償責任または法的責任も負いません。特に、当社が記載する情報には製品やサービスの構造・成分・仕組みは記載されず、また、記述内容は保証には該当しません。また、当社は技術の進歩または発展によりこれらの情報、技術等を変更する権利を有します。当社製品のユーザは納入された製品の検査・試験を念に行う義務を負担します。この文書に記載される当社製品の機能について、適切な資格を持つエキスパートによる検査を行い確認してください。この文書内の他社名の引用は、同社を推奨するものでも、類似する製品の使用可能性を否定するものでもありません。

Evonik Operations GmbH | Goldschmidtstraße 100, 45127 Essen, Germany | Telefon +49 201 173-2222 Telefax +49 201 173-1939 | [www.coating-additives.com](http://www.coating-additives.com)